ZOOM FIRE-30

MODELING GUITAR AMPLIFIER

オペレーションマニュアル

はじめに

このたびは、ZOOMモデリングギターアンプFIRE-30（以下“FIRE-30”と呼びます）をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。FIRE-30の機能を十分に理解し、末永くご愛用いただくためにも、このマニュアルをよくお読みくださるようお願いいたします。
このマニュアルはお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

目次

安全上のご注意／使用上のご注意

安全上のご注意

この取扱説明書では、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐための注意事項を、マークを付けて表示しています。マークの意味は次の通りです。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性、または物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本製品を安全にご使用いただくために、つぎの事項にご注意ください。

電源について

警告

電源プラグは必ずAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。

長時間ご使用にならない場合は、電源コードをAC コンセントから抜いておくようにしてください。

使用環境について

注意

FIRE-30をつぎのような場所でご使用になりますと、故障の原因となりますのでお避けください。

●温度が極端に高くなるところや低くなるところ
●湿度が極端に高いところ
●砂やほこりの多いところ
●振動の多いところ

取り扱いについて

注意

FIRE-30は精密機器ですので、スイッチ類には無理な力を加えないようにしてください。
必要以上に力を加えたり、落としたりぶつけるなどの衝撃は故障の原因となります。

接続ケーブルと入出力ジャックについて

注意

ケーブルを接続する際は、各機器の電源スイッチを必ずオフにしてから行なってください。本製品を移動するときは、必ずすべての接続ケーブルと電源プラグを抜いてから行なってください。

改造について

警告

ケースを開けたり、改造を加えることは、故障の原因となりますので絶対におやめください。改造が原因で故障が発生しても当社では責任を負い兼ねますのでご了承ください。

音量について

注意

FIRE-30を大音量で長時間使用しないでください。難聴の原因となることがあります。

使用上のご注意

他の電気機器への影響について

FIRE-30 は、安全性を考慮して本体からの電波放出および外部からの電波干渉を極力抑えております。しかし、電波干渉を非常に受けやすい機器や極端に強い電波を放出する機器の周囲に設置すると影響が出る場合があります。そのような場合は、FIRE-30と影響する機器とを十分に距離を置いて設置してください。

デジタル制御の電子機器では、FIRE-30も含めて、電波障害による誤動作やデータの破損、消失など思わぬ事故が発生しかねません。ご注意ください。

お手入れについて

パネルが汚れたときは、柔らかい布で乾拭きしてください。それでも汚れが落ちない場合は、湿らせた布をよくしぼって拭いてください。
クレンザー､ワックスおよびアルコール､ベンジン､シンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

故障について

故障したり異常が発生した場合は、すぐに電源コードを抜いて電源を切り、他の接続ケーブル類もはずしてください。
「製品の型番」「製造番号」「故障、異常の具体的な症状」「お客様のお名前、ご住所、お電話番号」をお買い上げの販売店またはズームサービスまでご連絡ください。

保証書の手続きとサービスについて

FIRE-30 の保証期間は、お買い上げいただいた日から1 年間です。ご購入された販売店で必ず保証書の手続きを行なってください。万一保証期間内に、製造上の不備による故障が生じた場合は、無償で修理いたしますのでお買い上げの販売店に保証書を提示して修理をご依頼ください。ただし、つぎの場合の修理は有償となります。

1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書にご購入の年月日、販売店名の記述がない場合。
3. お客様の取り扱いが不適当なため生じた故障の場合。
4. 当社指定業者以外での修理、改造された部分の処理が 不適当であった場合。
5. 故障の原因が本製品以外の、他の機器にある場合。
6. お買い上げ後に製品を落としたり、ぶつけるなど、過度の衝撃による故障の場合。
7. 火災、公害、ガス、異常電圧、および天災（地震、落雷、津波など）によって生じた故障の場合。
8. 消耗品（電池など）を交換する場合。
9. 日本国外でご使用になる場合。

保証期間が切れますと修理は有償となりますが、引き続き責任を持って製品の修理を行ないます。

このマニュアルは将来必要となることがありますので､必ず参照しやすいところに保管してください。

特長

FIRE-30は次のような特長を備えたギターアンプです。

● **多彩なギターアンプ／コンパクトエフェクターサウンドをモデリング**

著名なギターアンプやコンパクトエフェクターの音質／特性をモデリングした22種類のドライブタイプ（歪みの種類）を搭載。ビンテージアンプからシャープな現代風ディストーションまで、多彩なサウンドを再現できます。また、キーをひと押しするだけで音圧やサスティンを強調したり、低音域や高音域をブーストする機能も用意されています。

● **ギタープレイに欠かせないデジタルエフェクト**

音に揺らぎを与えるモジュレーションエフェクトや、残響や反射音を加えるディレイ／リバーブエフェクトを搭載。積極的なサウンドメイキングが楽しめます。

● **アンプの設定をパッチとして保存**

アンプやエフェクトの設定をユーザーパッチとして保存可能。パネル上のキーやフットスイッチ（別売）を使って、アンプやエフェクトの音色を瞬時に切り替えられます。さらに、推奨セッティングをプログラムしたプリセットパッチも利用できます。

● **POWER DAMP スイッチを搭載**

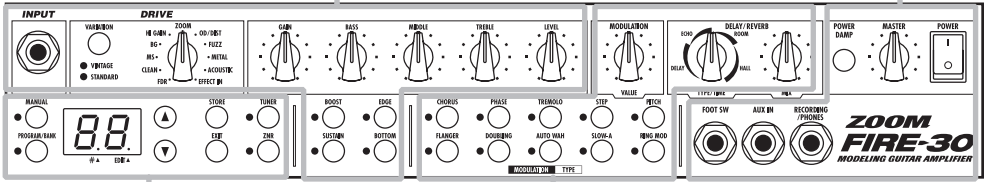
パワーアンプの音響特性を損なわずに音量だけを絞ることができます。

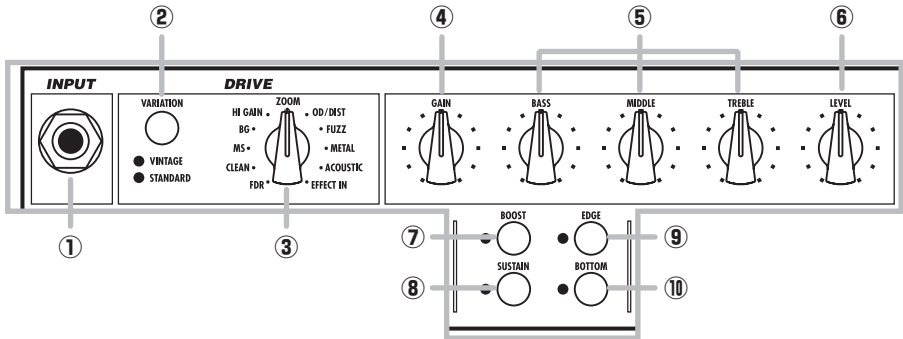
● **オートクロマチックチューナーを搭載**

ギター用のオートクロマチックチューナーを内蔵。簡単な操作で手軽にチューニングが行えます。

● **豊富な入出力端子**

CDプレーヤー／MDプレーヤーなどの再生機器を接続するAUX IN端子や、ヘッドフォン／録音機器を接続するRECORDING／PHONES端子を装備。CDからのフレーズコピーや深夜の練習にも威力を発揮します。

各部の名称と機能

◆ インプット／プリアンプセクション

楽器の信号を入力し、歪みの量や音色を整えるセクションです。

① [INPUT] 端子

楽器用ケーブルを使ってエレクトリックギターを接続する端子です。

② [VARIATION] キー

③ [DRIVE TYPE] ノブ

音質や特性をシミュレートするアンプ／ディストーションの種類（ドライブタイプ）を選びます。[DRIVE TYPE]ノブを使って11種類の中からドライブタイプを選択し、[VARIATION]キーを使ってそのバリエーション（ビンテージ／スタンダード）を切り替えます。現在選ばれているバリエーションに対応するLEDが点灯します。

④ [GAIN] ノブ

入力のゲインを調節します。このノブを上げるほど歪みが深くなります。

⑤ [BASS]／[MIDDLE]／[TREBLE] ノブ

低音域／中音域／高音域のブースト／カット量を調節する3バンドのイコライザーです。

⑥ [LEVEL] ノブ

プリアンプ通過後の音量を調節します。

⑦ [BOOST] キー

このキーをオン（LEDが点灯）にすると、音圧が上がります。

⑧ [SUSTAIN] キー

このキーをオン（LEDが点灯）にすると、サスティンが長くなります。

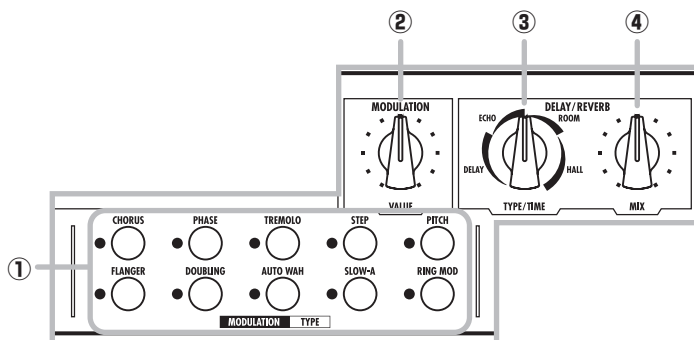
⑨ [EDGE] キー

このキーをオン（LEDが点灯）にすると、高音域が強調されます。

⑩ [BOTTOM] キー

このキーをオン（LEDが点灯）にすると、低音域が強調されます。

◆ エフェクトセクション

内蔵のデジタルエフェクトを調節するセクションです。FIRE-30では、モジュレーションエフェクトとディレイ／リバーブエフェクトの2種類が利用できます。

① [TYPE] キー（MODULATION）

モジュレーションエフェクトで利用するエフェクトタイプ（効果の種類）を選択します。また、モジュレーションエフェクトのオン／オフ切り替えにも利用します。

② [VALUE] ノブ（MODULATION）

現在選ばれているモジュレーションエフェクトのエフェクトパラメーター（効果の効き具合）を調節します。

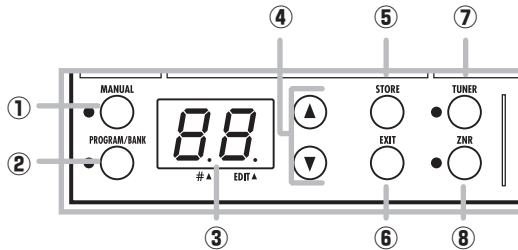
③ [TYPE/TIME] ノブ（DELAY/REVERB）

ディレイ／リバーブエフェクトで利用するエフェクトタイプとエフェクトパラメーター（残響の長さや反響音の間隔）の両方を調節します。

④ [MIX] ノブ（DELAY/REVERB）

ディレイ／リバーブエフェクトの効果の深さ（ギターとエフェクトのミックスバランス）を調節します。

◆ パッチセクション

パッチの保存や呼び出しを行うセクションです。また、内蔵チューナーやノイズリダクションもこのセクションで操作します。

① [MANUAL] キー

② [PROGRAM/BANK] キー

パネル上の操作で音作りを行うマニュアルモードと、あらかじめプログラムされたパッチの設定を利用するプログラムモードを切り替えるキーです。

[MANUAL] キーがオン（LEDが点灯）のときはマニュアルモード、[PROGRAM/BANK] キーがオンのときはプログラムモードが選ばれます（電源投入時には、マニュアルモードが選ばれています）。

③ ディスプレイ

現在選ばれているパッチ番号や、FIRE-30内部の設定要素（パラメーター）の値が表示されます。

④ [▲]／[▼] キー

パッチの切り替えや、ZNR（ズームノイズリダクション）を調節するときに使用します。

⑤ [STORE] キー

現在の設定をユーザーパッチとして保存するときに使います。

⑥ [EXIT] キー

操作をキャンセルしたり、現在選んでいるパッチ番号をディスプレイに表示させるときに使います。

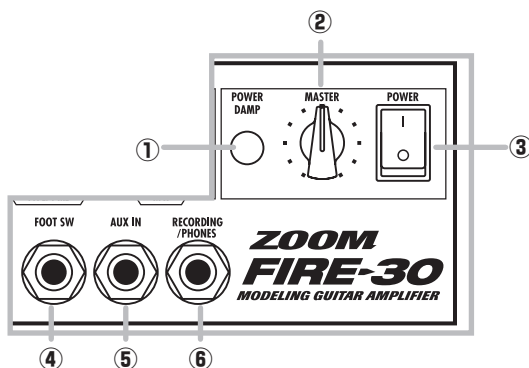
⑦ [TUNER] キー

このキーをオン（LEDが点灯）にすると、FIRE-30の内蔵チューナーが利用できます。

⑧ [ZNR] キー

ZNR（ズームノイズリダクション）を利用するときに使います（電源投入時には、オンに設定されています）。

◆ アウトプット／コントロールセクション

アンプの最終的な音量を調節したり、フットスイッチや外部機器を接続するセクションです。

①[POWER DAMP]スイッチ

このスイッチをオンにすると、パワーアンプの音響特性を損なわずに音量だけを絞ることができ、小音量でも迫力ある演奏をお楽しみいただけます。

② [MASTER] ノブ

スピーカーから出力される最終的な音量を調節します。

③ [POWER] スイッチ

電源のオン／オフを切り替えます。

④ [FOOT SW] 端子

別売のフットスイッチ（ZOOM FS-01）を接続し、足元でマニュアルモードとプログラムモードを切り替えるための端子です。

⑤ [AUX IN]端子

CD プレーヤーやMD プレーヤーなどの再生機器を接続するステレオの入力端子です。

⑥ [RECORDING/PHONES] 端子

録音機器やヘッドフォンを接続するステレオ出力端子です。

接続しましょう

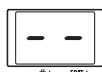
ギターとFIRE-30の間にZOOMマルチエフェクター（606や707IIなど）を接続するときは、[DRIVE TYPE]ノブを“EFFECT IN”に合わせてください。
CDプレーヤーなどステレオの再生機器を入力するには、ステレオケーブルを使って[AUX IN]端子に接続します。入力された信号は、内部でギターの信号とミックスされます。
ギター
CDプレーヤーなど
606など
電源ケーブル
FS01
ヘッドフォン
フットスイッチを使ってマニュアルモードとプログラムモードを足元で切り替えたいときは、別売のZOOM FS-01を[FOOT SW]端子に接続します。
FIRE-30の出力をヘッドフォンでモニターするときは、ヘッドフォンのプラグを[RECORDING/PHONES]端子に接続します（この端子にプラグが接続されると、自動的にスピーカーの内部接続が解除されます）。
FIRE-30の出力を録音するには、録音機器の入力端子と[RECORDING/PHONES]端子を接続します。
MRS-1266など

使ってみよう

ここではパネルの操作方法やパッチの使い方など、FIRE-30の各種操作について説明します。

基本操作

1. [MASTER] ノブが0の位置まで絞られていることを確認し、[POWER] スイッチをオンにしてください。[GAIN]／[BASS]／[MIDDLE]／[TREBLE]／[LEVEL] の各ノブはすべて中央に合わせてください。

[POWER] スイッチをオンにした直後は、マニュアルモード（[MANUAL]キーがオン）になっています。マニュアルモードでは、パネル上のノブやキーを使って音作りが行えます。

マニュアルモードの
ディスプレイ

2. [DRIVE TYPE] ノブと [VARIATION] キーを使って、利用したいドライブタイプとそのバリエーションを選択してください。

FIRE-30では、現在選ばれているドライブタイプに応じて、特性や歪み具合が変化します。このため、マニュアルモードで音作りを行うときは、まず[DRIVE TYPE]ノブを回してドライブタイプを選び、[VARIATION]キーでそのバリエーション（スタンダード／ビンテージ）を選ぶことをお勧めします（ドライブタイプごとの説明は→P.18）。

3. [MASTER] ノブを適度な位置まで上げ、ギターを弾きながら [GAIN] ノブや [LEVEL] ノブを回して、歪みの深さや音量レベルを調節してください。

通常は [GAIN] ノブで歪みの深さを調節し、[LEVEL] ノブでパッチ固有の音量を設定します（[MASTER]ノブは、すべてのパッチに共通の最終ボリュームを調節します）。

4. [BASS] ／[MIDDLE]／ [TREBLE]の各ノブを使って、トーンを調節してください。

また、[BOOST]、[SUSTAIN]、[EDGE]、[BOTTOM]の各キーを使って、音圧、サスティン、高音域、低音域といった要素を強調できます。

5. ZNR（ズームノイズリダクション）の設定をするときは、[ZNR]キーを押してください。

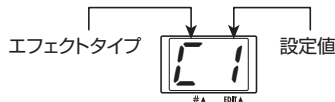
ZNRキーのLEDが点滅し、ZNRの設定値（Z1～Z9, oF）が約2秒表示されます。[▲]／[▼]キーを使って、設定値を修正してください。ZNRのオン／オフを切り替えたいときは、もう一度[ZNR]キーを押してください。値が大きいほどZNRの効きが強くなります。音の消え際が不自然にならない範囲でできるだけ大きい値に合わせてください。

6. 電源を切るときは、[MASTER] ノブを絞ってから [POWER] スイッチをオフにしてください。

エフェクトを使う

FIRE-30には、モジュレーション、ディレイ／リバーブという2種類のエフェクトが内蔵されています。ここでは、それぞれのエフェクトを試してみましょう。

1. モジュレーションエフェクトをかけるには、利用したいエフェクトタイプ（効果の種類）に対応する[TYPE] キーを押してください。

該当するキーのLEDが点灯し、モジュレーションエフェクトがオンになります。このとき、選択されたエフェクトタイプとその設定値がディスプレイに約2秒間表示されます。

モジュレーションエフェクトで選択可能なエフェクトタイプとその略号は、次の通りです。

キー（エフェクトタイプ	略号	キー（エフェクトタイプ	略号
[CHORUS]キー（コーラス）	C	[AUTO WAH]キー（オートワウ）	U
[FLANGER]キー（フランジャー）	F	[STEP]キー（ステップ）	S
[PHASE]キー（フェイザー）	H	[SLOW-A]キー（スローアタック）	A
[DOUBLING]キー（ダブリング）	d	[PITCH]キー（ピッチシフト）	P
[TREMOLO]キー（トレモロ）	t	[RING MOD]キー（リングモジュレーター）	r

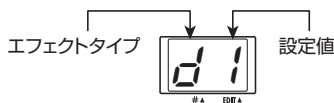
2. [VALUE] ノブを回してください。

例えば手順1で[CHORUS]キーを押したときは、[VALUE]ノブを回すとC1～C9の範囲で設定値が上下し、それに応じてエフェクトの効き具合（この例ではコーラスの変調の深さ）が変わります（エフェクトタイプや設定値についての詳細は→P.19～P.22）。

HINT

- モジュレーションエフェクトで同時に使用できるエフェクトタイプは1種類のみです。
- ディスプレイにエフェクトタイプや設定値が表示されていなくても、[VALUE]ノブを操作すれば、現在選ばれているエフェクトタイプ（[TYPE]キーのLEDの点灯で確認できます）の設定値が変化します。

3. ディレイ／リバーブエフェクトをかけるには、[TYPE/TIME]ノブを回し、利用したいエフェクトタイプとその設定値を選んでください。

[TYPE/TIME]ノブを回すと、ディスプレイに、現在選ばれているエフェクトタイプとその設定値が表示されます。

ディレイ／リバーブエフェクトで選択可能なエフェクトタイプとその略号は、次の通りです。

キー（エフェクトタイプ	略号	キー（エフェクトタイプ	略号
DELAY（ディレイ）	d	ROOM（ルーム）	r
ECHO（エコー）	E	HALL（ホール）	H

左側に絞りきった状態から右側に回すと、d1～d9（ディレイ）→E1～E9（エコー）→r1～r9（ルーム）→H1～H9（ホール）の順にエフェクトタイプと設定値が変化していきます（エフェクトタイプや設定値についての詳細は→P.22）。

4. [MIX] ノブを回して、ディレイ／リバーブエフェクトのかかり具合を調節してください。

[MIX]ノブは、原音（ギターの信号）とディレイ／リバーブエフェクトのエフェクト音のミックスバランスを0～9の範囲で調節します。ノブを右に回すほどディレイ／リバーブエフェクトが深くかかり、左に回しきるとディレイ／リバーブエフェクトがオフになります。

HINT

プログラムモードでも、同じ要領でパッチのエフェクト設定を修正できます。

パッチの呼び出しと保存

FIRE-30のパッチは、読み書き可能なユーザーバンク（U）と読み込み専用のプリセットバンク（A、b）に分かれており、バンクごとに0～9のパッチ番号が利用できます。

ここでは、アンプやエフェクトの設定をユーザーパッチとして保存したり、ユーザーパッチ／プリセットパッチを呼び出したりする方法について説明します。

◆ パッチを呼び出す

1. パッチセクションの[PROGRAM/BANK]キーを押し、LEDを点灯させてください。

D135がマニュアルモードからプログラムモードに切り替わり、ディスプレイには現在選ばれてい

るパッチが表示されます。

プログラムモードでは、パネル上のノブの設定が無効となり、現在選ばれているパッチの設定が有効になります。

2. [▲]／[▼]キーを使って利用したいパッチのバンクと番号を選んでください。

[▲]／[▼]キーを押すと、U0〜U9→A0〜A9→b0〜b9→U0...の順でパッチが切り替わります（工場出荷時のパッチの内容は→P.17）。

また、[PROGRAM/BANK]キーを押すと、U1→A1→b1→U1のように、パッチ番号はそのままでバンクのみが切り替わります。

3. 必要ならば、インプット／プリアンプセクションやエフェクトセクションを操作して、歪み具合、トーン、音量、エフェクトのタイプや効き具合などを調節してください。

呼び出したパッチを後から修正することも可能です。ノブやキーを操作すると、ディスプレイの右下にドットが点灯します（元の設定値に戻すとドットが消灯します）。

HINT

[STORE]キーを押せば、変更した内容をユーザーパッチに保存できます。操作方法は「パッチを保存する」をご参照ください。

NOTE

設定値を変更した内容は、他のパッチを選ぶと元の状態にリセットされてしまいます。設定内容を残しておきたいときは、ユーザーパッチに保存してください。

◆ パッチを保存する

NOTE
パッチを保存すると、その位置に保存されていたユーザーパッチは消去されます。誤って必要なパッチを消去しないようにご注意ください。

1. パネル上のキーやノブを使ってお好みの音色を作ってください。

2. パッチセクションの[STORE]キーを押してください。

ディスプレイにユーザーバンクを表す“U”の文字とパッチ番号（0～9）が点滅表示され、ユーザーパッチへの保存が可能となります。

3. [▲]／[▼]キーを使って保存先となるユーザーパッチ（U0～U9）を選んでください。

なお、プリセットパッチ（A0～A9、b0～b9）は読み込み専用です。保存先として選ぶことはできません。

4. パッチを保存するには、もう一度[STORE]キーを押してください。

[STORE]キーを押すと保存が実行され、プログラムモードになります。
また、[STORE]キーの代わりに[EXIT]キーを押すと、操作がキャンセルされ、手順1の状態に戻ります。

HINT
既存のパッチを呼び出して保存操作を行えば、パッチをコピーすることもできます。

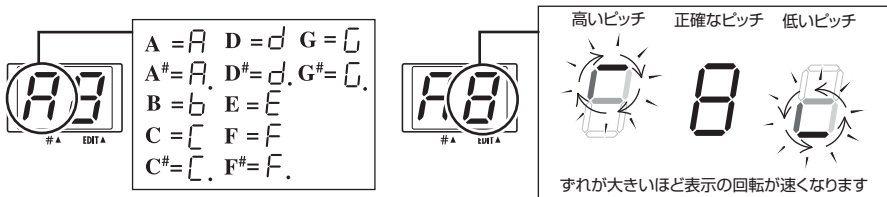
内蔵チューナーを使う

FIRE-30 にはオートクロマチックチューナーが内蔵されています。チューナー機能を使うには、パッチセクションの[TUNER]キーを利用します。

1. **パッチセクションの [TUNER] キーを押してください。**

[TUNER] キーのLEDが点灯し、内蔵チューナーが利用可能な状態になります。
音を外に出しながらチューニングしたいときは、[TUNER]キーを押してすぐ放してください（ディスプレイに“tU”と表示されます）。また、アンプをミュート（消音）してチューニングしたいときは、[TUNER]キーを押し続けてディスプレイに“Mt”と表示されてから放してください。

2. **チューニングを合わせたい開放弦を弾いてください。**

ディスプレイの左側には最寄りの音名、ディスプレイの右側にはピッチがどの程度ずれているかを表す記号が表示されます。ディスプレイを見ながらピッチを調節してください。

3. **チューナーの基準ピッチを変えたいときは、[▲] ／ [▼] キーのどちらか一方を押してください。**

現在の基準ピッチの設定値が約2秒間表示されます。初期状態では“40（中央A＝440Hz）”に設定されています。

4. **基準ピッチの値が表示されている間に、[▲]／[▼]キーを使って値を変えてください。**

設定可能な範囲は、“35～45（中央A＝435Hz～445Hz）”です。

NOTE
電源を入れ直すと、基準ピッチが“40（中央A＝440Hz)”にリセットされます。

5. チューニングが終ったら、[TUNER]キーを押してオフにしてください。

チューナーが解除されます。

NOTE
チューナー機能使用時はエフェクトがオフになります。

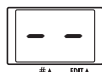
フットスイッチでモードを切り替える

別売のフットスイッチを使えば、演奏中にマニュアルモードとプログラムモードの切り替えを足元で行えます。

1. FIRE-30の電源を切り、別売のフットスイッチFS-01を[FOOT SW]端子に接続してください。

NOTE
電源が入った状態でフットスイッチの抜き差しを行うと、FIRE-30が誤動作するおそれがあります。

2. FIRE-30の電源を入れてください。

FIRE-30がマニュアルモードとなります。

マニュアルモードのディスプレイ

3. 演奏しながら、フットスイッチを踏んでください。

スイッチを踏むと、FIRE-30がマニュアルモードからプログラムモードに切り替わり、現在選ばれているパッチが有効となります。必要ならば、[PROGRAM/BANK]キーや[▲]／[▼]キーを使って、バンクやパッチ番号を切り替えてください。

プログラムモードのディスプレイ

4. マニュアルモードに戻るには、もう一度フットスイッチを踏むか、[MANUAL]キーを押してください。

FIRE-30 を工場出荷時の状態に戻す（オールイニシャライズ）

必要ならば、ユーザーパッチ（U0～U9）の内容を工場出荷時の状態に戻すことができます（これをオールイニシャライズと呼びます）。

NOTE
オールイニシャライズを実行すると、それまでに保存したユーザーパッチがすべて消去されます。この操作は慎重に行ってください。

1. [STORE]キーを押しながら電源を入れてください。

ディスプレイに“AL”の表示が点滅します。

2. オールイニシャライズを実行するには、もう一度[STORE]キーを押してください。

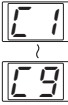
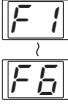
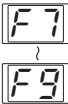
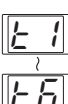
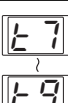
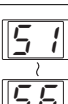
すべてのユーザーパッチが工場出荷時の状態に戻ります。オールイニシャライズをキャンセルしたいときは、[STORE]キーの変わりに[EXIT]キーを押してください。

ドライブタイプ／エフェクトタイプ一覧

■ DRIVE

モデリングの素材となるアンプやディストーションの種類（ドライブタイプ）を選びます。

ドライブタイプ	表示	バリエーション	名前	説明
FDR	Fd	VINTAGE	FDR BLUES	真空管ビルトインアンプのクラシカルでブルージーなサウンドです。
		STANDARD	FDR CLEAN	真空管ビルトインアンプのクリーンサウンドです。
CLEAN（クリーン）	CL	VINTAGE	J CLEAN	クリーンでブライトな感じのコンボアンプサウンドです。
		STANDARD	MATCH	ウォームでパワー感のあるコンボアンプサウンドです。
MS	MS	VINTAGE	MS OLD	ブリティッシュ系真空管スタックアンプのオールドテイストなサウンドです。
		STANDARD	MS DRIVE	ブリティッシュ系真空管スタックアンプのドライブサウンドです。
BG	bG	VINTAGE	BG OLD	中音域に粘りのある真空管コンボアンプのオールドテイストなサウンドです。
		STANDARD	BG DRIVE	中音域に粘りのある真空管スタックアンプのドライブサウンドです。
HI GAIN（ハイゲイン）	HG	VINTAGE	MP 1	ゲインの高い真空管プリアンプのサウンドです。
		STANDARD	PVY	ヘビーメタルに最適な、真空管スタックアンプのサウンドです。
ZOOM（ズーム）	ZM	VINTAGE	9002	ズームオリジナルの9002系のサウンドです。
		STANDARD	Z POWER	ズームオリジナルのパワー感のあるアンプ系サウンドです。
OD/DIST（オーバードライブ／ディストーション）	od	VINTAGE	VINTAGE OD	乾いたサウンドのオーバードライブをコンボアンプに接続したサウンドです。
		STANDARD	TB DIST	信号を極端にブーストしたディストーションをコンボアンプに接続したサウンドです。
FUZZ（ファズ）	FU	VINTAGE	WILD FUZZ	ハイゲインで攻撃的な一昔前のファズをスタックアンプに接続したサウンドです。
		STANDARD	FUZZ	60年代の香りが懐かしいスタンダードなファズをスタックアンプに接続したサウンドです。

METAL (メタル)	Mt	VINTAGE	MTZ	中音域に癖のある伝統的なメタル系サウンドです。
		STANDARD	MT 7	7弦ギターの音域に対応したメタルサウンドです。
ACOUSTIC (アコースティック)	Ac	VINTAGE	AC FAT	エレクトリックギターの音色をアコースティックギター風に変えるエフェクトです。 DRIVE[VARIATION] キーで、音色のバリエーション(ファット、スタンダード)を切り替えます。
		STANDARD	AC STANDARD	
EFFECT IN (エフェクトイン)	EI	VINTAGE	VINTAGE	ズームのマルチエフェクター等を直接入力するのに最適な設定のクリーンなギターアンプサウンドです。VINTAGEはよりタイトな設定です
		STANDARD	STANDARD	

■ ZNR

無演奏時のノイズを抑えるズーム独自のノイズリダクションです。[ZNR]キーを使ってオン／オフを切り替え、[▲]／[▼]キーを使って設定値を調節します。

	設定値	説明
ZNR（ズームノイズリダクション）	≡1 〜 ≡9	設定値を大きくするほどノイズリダクションのかかりが強くなります。音の消え際が不自然にならない範囲で、できるだけ大きい値に設定します。

■ MODULATION

ギターサウンドに揺れや厚みを加えるエフェクトです。[TYPE]キーを使って利用したいエフェクトタイプを選び、[VALUE]ノブを使って設定値を調節します。

エフェクトタイプ	設定値	説明
CHORUS (コーラス)	C1 〜 C9	ピッチを上下に揺らしたエフェクト音と原音をミックスし、音に広がりと厚みを与えるエフェクトです。値を大きくするほど、コーラス効果が深くなります。
FLANGER (フランジャー)	F1 〜 F6	ピッチが上下するようなクセのあるうねりを加えるエフェクトです。値を大きくするほど、うねりの速度が速くなります。

FLANGER→CHORUS（フランジャー→コーラス）	F7 〜 F9	フランジャーとコーラスを直列に接続した設定です。値を大きくするほど、フランジャーのうねりの速度が速くなります（コーラスのかかり具合は、常に一定です）。
PHASE（フェイザー）	H1 〜 H6	原音の位相を周期的にずらしたエフェクト音と原音をミックスさせ、“シュワシュワ”したうねりのあるサウンドを作るエフェクトです。値を大きくするほど、うねりの速度が速くなります。
PHASE → CHORUS（フェイザー→コーラス）	H7 〜 H9	フェイザーとコーラスを直列に接続したエフェクトタイプです。値を大きくするほど、フェイザーのうねりが速くなります（コーラスのかかり具合は、常に一定です）。
DOUBLING（ダブリング）	d1 〜 d6	原音にディレイタイムのごく短いディレイ音を重ね、同じフレーズを複数の奏者で演奏しているような音の厚みを加えるエフェクトです。値を大きくするほど、ダブリング効果が深くなります。
DOUBLING → CHORUS（ダブリング→コーラス）	d7 〜 d9	ダブリングとコーラスを直列に接続した設定です。値を大きくするほど、ダブリング効果が深くなります（コーラスのかかり具合は、常に一定です）。
TREMOLO（トレモロ）	t1 〜 t6	音量を周期的に変化させるエフェクトです。値を大きくするほど、トレモロ効果が速くなります。
TREMOLO → CHORUS（トレモロ→コーラス）	t7 〜 t9	トレモロとコーラスを直列に接続した設定です。値を大きくするほど、トレモロ効果が速くなります（コーラスのかかり具合は、常に一定です）。
AUTO WAH（オートワウ）	U1 〜 U6	演奏の強弱に応じて自動的にワウ効果がかかるエフェクトです。値を大きくするほど、オートワウの入力感度が高くなり、レベルが低い信号でもワウがかかります。
AUTO WAH→CHORUS（オートワウ→コーラス）	U7 〜 U9	オートワウとコーラスを直列に接続した設定です。値を大きくするほど、オートワウの入力感度が高くなります（コーラスのかかり具合は、常に一定です）。
STEP（ステップ）	S1 〜 S6	フィルターをランダムに変化させ、オートアルペジオ風の音色変化を作り出すエフェクトです。値を大きくするほど、音色変化の速度が速くなります。

STEP →CHORUS（ステップ→コーラス）	S7 ～ S9	ステップとコーラスを直列に接続した設定です。値を大きくするほど、ステップによる音色変化が速くなります（コーラスのかかり具合は、常に一定です）。
SLOW-A（スローアタック）	A1 ～ A6	音の立ち上がりを遅くするエフェクトです。ボリューム奏法で演奏しているような効果が得られます。値を大きくするほど、アタックの立ち上がりが遅くなります。
SLOW-A→PITCH（スローアタック→ピッチシフト）	A7 ～ A9	スローアタックとピッチシフターを直列に接続した設定です。値を大きくするほど、立ち上がりが遅くなります（ピッチシフターは、原音に1オクターブ上のエフェクト音を加えた設定に固定されます）。
PITCH（ピッチシフト）	原音のピッチを変化させるエフェクトです。あらかじめ設定された、9種類のピッチの変化パターン（P1～P9）の中から1つを選択します。	
	P1	1オクターブ下にピッチシフトした音を原音とミックスします。
	P2	完全5度下にピッチシフトした音を原音とミックスします。
	P3	P2の設定にコーラスエフェクトが加わります。
	P4	完全4度上にピッチシフトした音と原音をミックスします。
	P5	P4の設定にコーラスエフェクトが加わります。
	P6	1オクターブ上の音にピッチシフトした音を原音とミックスします。
	P7	ピッチを微妙にずらした音と原音をミックスします。変調感の少ないコーラス効果が得られます。
	P8	上下に完全4度ずらした音と原音をミックスします。
	P9	上下に1オクターブずらした音と原音をミックスします。
RING MOD（リングモジュレーター）	r1 ～ r6	サウンドに振幅変調を加え、金属的な音色を作り出すエフェクトです。値を大きくするほど、変調用の周波数が高くなります。

RING MOD→CHORUS（リングモジュレーター→コーラス）		リングモジュレーターとコーラスを直列に接続した設定です。値を大きくするほど、リングモジュレーターの変調周波数が高くなります（コーラスのかかり具合は、常に一定です）。

■ DELAY/REVERB

ギターサウンドに反射音や残響を加えるエフェクトです。[TYPE/TIME] ノブで利用したいエフェクトタイプと設定値を選び、[MIX]ノブで原音とエフェクト音のミックスバランスを調節します。

エフェクトタイプ	設定値	説明
DELAY（ディレイ）	d1 ～ d9	オーソドックスなデジタルディレイエフェクトです。設定値が大きいほど、ディレイタイムが長くなります。また、フィードバック量は最適な値に設定されます。
ECHO（エコー）	E1 ～ E9	テープエコー風の暖かみのあるディレイエフェクトです。設定値が大きいほど、ディレイタイムが長くなります。また、フィードバック量は最適な値に設定されます。
ROOM（ルーム）	r1 ～ r9	室内の残響音をシミュレートするリバーブエフェクトです。設定値を大きくするほど、効果が深くなります。
HALL（ホール）	H1 ～ H9	コンサートホールの残響音をシミュレートするリバーブエフェクトです。設定値を大きくするほど、効果が深くなります。

製品仕様

出力	36W　RMS
スピーカー	25cm, 5Ω
インプット	**ギターインプット**：標準モノラルフォーンジャック (定格入力レベル＝－20dBm／入力インピーダンス＝470kΩ) AUX IN：標準ステレオフォーンジャック (定格入力レベル＝－20dBm／入力インピーダンス＝10kΩ)
アウトプット	ライン／ヘッドフォーン兼用アウト　標準ステレオフォーンジャック (定格出力レベル＝＋4dBm／出力負荷インピーダンス＝10kΩ以上時)
ドライブタイプ	22タイプ
エフェクトプログラム	19タイプ(10 MODULATION + 4 DELAY/REVERB + BOOST + SUSTAIN + EDGE + BOTTOM + ZNR)
エフェクトモジュール	7 モジュール(MODULATION + DELAY/REVERB + BOOST + SUSTAIN + EDGE + BOTTOM + ZNR)
プログラムパッチ	USER：10（書き換え、保存可能） PRESET：2 バンク×10 = 20 合計30パッチ
サンプリング周波数	31.25kHz
A/D 変換	20ビット, 64倍オーバーサンプリング
D/A 変換	20ビット, 8倍オーバーサンプリング
コントロール	FOOT SW（FS01）
ディスプレイ	2桁7セグメントLEDディスプレイ
電源	100V, 50/60Hz
外形寸法	485mm(W) x 240mm(D) x 410mm(H)
重量	12kg
付属品	電源ケーブル

※ 0dBm＝0.775Vrms
※ 製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

故障かな？ と思う前に

● 電源が入らない

・ 電源プラグがコンセントに接続されていますか？

・ [POWER]スイッチがオンになっていますか？

● 音が出ない／音が小さい

・ ギターとFIRE-30が正しく接続されていますか？

P.9を参考に接続を確認してください。

・ [RECORDING/PHONES]端子にプラグが差さっていませんか？

FIRE-30では[RECORDING/PHONES]端子にプラグが差し込まれていると自動的にスピーカーの出力がオフになります。スピーカーから音を出したいときには端子からプラグを引き抜いてください。

・ [LEVEL]ノブまたは[MASTER]ノブを絞り切っていませんか？

ノブを右側に回してギターを弾いてみてください。

● 音が変に歪む／音が割れる

・ [GAIN]／ [LEVEL]ノブが大きくなりすぎていませんか？

[GAIN]／[LEVEL]ノブを左側に回してみてください。音量は[MASTER]ノブで調節してください。

● フットスイッチでモードが変わらない

・ ZOOM純正のフットスイッチを接続していますか？

フットスイッチには純正品（ZOOM FS-01）をご使用ください。

パッチリスト

BANK	PATCH	PATCH NAME	DRIVE TYPE	COMMENT
U	0	Fire Drive	PVY	音に芯があり良く粘るパワーサウンド
	1	Pop Chorus	J CLEAN	コーラスが特徴的なコンボアンプをデフォルメしたサウンド
	2	Delayed OD	VINTAGE OD	メロディ～リードに適したディレイを特徴としたオーバードライブ
	3	Metal 7	MT 7	7弦ギターに対応したメタルサウンド
	4	Beat Crunch	MS OLD	リズムからリードまで幅広く使えるスタンダードなクランチサウンド
	5	Phaser Cut	EFFECT IN (St)	カッティング向きのフェイザーサウンド
	6	Z-Box	9002	ズームオリジナルのヴィンテージサウンドをデフォルメ
	7	Pitched DRV	BG OLD	汎用性の高いスタンダードなオクターブ下ピッチサウンド
	8	Strum Arp	AC STANDARD	ストロークとアルペジオに適したアコースティックサウンド
	9	Jet Drive	MP 1	切れがあり使いやすいジェットサウンド
A	0	PV-Hard	PVY	ハイゲインアンプのドライブ感をシミュレートしたサウンド
	1	Clear Chorus	EFFECT IN (St)	透明感があり音抜けの良いクリーンコーラスサウンド
	2	Z-Power	Z POWER	ズームオリジナルのパワーリードサウンド
	3	M-Stack	MS DRIVE	定番スタックアンプサウンドをシミュレート
	4	Combo Drive	BG OLD	いわゆるコンボアンプを軽くドライブさせたサウンド
	5	FDR-Clean	FDR CLEAN	スタジオレコーディングで活躍するスタンダードアンプサウンド
	6	X-Distortion	TB DIST	コンパクトのディストーションサウンドをシミュレート
	7	BG-Stack	BG DRIVE	BGスタック系アンプのシミュレート
	8	MP-Power	MP 1	ハードな歪みと速いレスポンスを持つアンプサウンド
	9	Match Box	MATCH	ハイクオリティクランチサウンドのコンボアンプをシミュレート
b	0	Wild Fuzz	WILD FUZZ	バッキングでもリードでもすべてにおいてパワフルなファズサウンド
	1	Clean Lead	EFFECT IN (Vin)	クリーンリード用のコーラス＆ディレイサウンド
	2	Fat Tweed	FDR BLUES	中音域を強調した渋めのファットサウンド
	3	Outline Dist	TB DIST	隠し味的なショートディレイで輪郭のテイスト感を出したサウンド
	4	Mystic Chord	J CLEAN	コードアルペジオで幻想的な響きをクリエイトするピッチサウンド
	5	Old Stack	MS OLD	古きよき時代の王道スタックアンプをシミュレートしたサウンド
	6	Silver Panel	FDR CLEAN	トレモロとリバーブが特徴的なコンボアンプのシミュレート
	7	Wah Useful	PVY	オールマイティに使えるオートワウサウンド
	8	UK Box	MATCH	マージービート系のバンドがメインにしていたコンボアンプ
	9	Neo Fuzz	FUZZ	スタジオ系ミュージシャン御用達のファジーサウンド

株式会社 ズーム

〒183-0022

東京都府中市宮西町2-10-2ノアビル1階

TEL: 042-369-7111　FAX: 042-369-7115

ホームページ　http://www.zoom.co.jp

FIRE-30 - 5010-1